

平成 28 年第 6 回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成 28 年 6 月 28 日（火） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 25 分

○場 所 三浦市教育委員会教育委員室

○次 第

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 署名委員の指名
菊 池 恵 委員、 松 尾 恒 廣 委員
- 4 教育長報告
 - (1)学校の出来事について
 - (2)平成 28 年第 2 回三浦市議会定例会について
- 5 報告事項
 - (1)平成 28 年 5 月の後援名義等使用について
 - (2)平成 28 年第 2 回三浦市議会定例会について
- 6 その他の事業について
 - (1)夏のスポーツ行事について
 - (2)三浦市社会教育講座「したうら塾」の開催について
 - (3)三浦市社会教育講座「親子で遊ぼう 3 B 体操講座」の開催について
 - (4)三浦市社会教育講座 サタデーボックス「子ども絵画教室」の開催について
 - (5)三浦市児童期家庭教育学級「みちしお学級」の開催について
 - (6)三浦市社会教育講座「親子やきもの教室」の開催について
- 7 その他
- 8 閉 会

○出席委員（5名）

教 育 長	三 壁 伸 雄
教育長職務代理	菊 池 惠
委 員	曾 根 崇 子
委 員	松 尾 恒 廣
委 員	下 里 矩 生

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	大 西 太	教 育 総 務 課 長	増 井 直 樹
学 校 教 育 課 長	五 十 嵐 徹	学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫
初声市民センター館長	見 上 正 行	青少年教育課長兼図書館長	安 藤 宜 尚
文化スポーツ課スポーツグループリーダー	天 野 貢		

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー	長 島 正 紀
-------------------	---------

○傍 聴（0名）

○三壁教育長 それでは、ただいまより平成28年第6回三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関するみなさまのご意見を頂戴したうえで、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思っております。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

(発言等なし)

○三壁教育長 なければお諮りします。

前回会議録について、別添「平成28年第5回三浦市教育委員会定例会 会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○三壁教育長 ご異議ないようですので、前回の会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に菊池委員と松尾委員を指名します。

○三壁教育長 続いて、次第4「教育長報告」について、私から何点か報告いたします。

まず一つ目ですが、5月31日に第5回定例教育委員会が開催され、その中で学校の諸事業について報告をしております。6月になってから学校での怪我、トラブルの発生件数が目立っております。6月21日の校長会でその報告を聞き、注意喚起をしています。一つは6月14日に南下浦中学校の1年生がソフトボールで怪我をし、それから16日に初声小学校の3年生が木から落ちる事故がありました。17日には旭小学校1年生が頭を打って救急車で運ばれました。21日には上宮田小学校1年生について、この児童は普段病気がちであるということですが、倒れて自宅に連絡をした事など集中しましたのでご報告いたしました。いずれの件につきましても大事には至っていないということです。

次に6月議会が6月10日から6月22日までの13日間行われました。新聞紙上等でご承知だと思いますが、通常、一般質問は3日間ありますが、一議員の関係で辞職勧告があり、11名からの一般質問については2日間で行われました。

内容としては学校教育関係が主で、海洋教育についてや学習の中でゴミ処理のこと、あるいは中学校の職業体験について質問があり答弁しております。

その他に校長会議において夏休みの前でもあり、怪我等について多く聞いておりますので先生方を始め児童生徒も十分気をつけてもらうようにと話をしました。

以上、簡単ではありますが教育長報告を終わります。

○三壁教育長 ただいまの教育長報告でご質問等あればお願いします。

○下里委員 トラブルという言葉をお聞きしましたのでお聞きします。

怪我をしたことについて、暴力等ではなくいわゆる遊びの範囲の中での怪我のトラブル、教育活動中の怪我のトラブルという捉え方でよろしいでしょうか。

○三壁教育長 ただいまの下里委員の質問ですが、私の報告のうち旭小学校1年生の件についてのことだと思いますので学校教育課長から説明をさせます。

○五十嵐学校教育課長 旭小学校1年生の女子児童が休み時間に女の子同士が抱っこしあう遊びをしていたところバランスを崩し抱っこしたまま倒れてしまい、抱っこされていた児童が床に頭を打ち、嘔吐してしまったこともあり救急搬送の対応をしました。

その後病院で診察を受け大事には至らないだろうということではありましたが、念のため一晩入院をしました。

なお、その後は元気に登校しております。

○三壁教育長 いじめということではないということですか。

○五十嵐学校教育課長 はい、そのとおりです。

○三壁教育長 その他にございますか。なければ教育長報告を終わります。

○三壁教育長 それでは続きまして、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

(1)平成28年5月の後援名義等使用について報告をお願いします。

○増井教育総務課長 それでは、平成28年5月の後援名義等の使用についてご報告いたします。
議案・資料1ページ、資料1をご覧ください。

平成28年5月に資料記載の学校教育課関係の申請2件、文化スポーツ課関係の申請15件、青少年教育課関係の申請1件について、承認をいたしました。

内容等についてご質問・ご不明な点がございましたら、担当課よりご説明します。

また、5月の定例教育委員会でお話しいたしましたとおり、三浦市教育委員会後援名義使用承認に関する事務取扱基準について、改正案を作成いたしましたのでご報告いたします。

議案資料の3ページをご覧ください。

今回の見直しは、規定内容の整理と旧基準に規定しておりませんでした事項4点を加えたものです。

加える事項ですが、1点目は、「3 申請」の中に、申請期日を設けました。

2点目は、「4 承認の基準」の中に、暴力団排除に関する要件並びに教育長が特に必要を認める要件を加えました。

3点目は、「5 承認の決定」の中に、教育委員会が決定内容を通知するまでの期日を設けました。

4点目は、「7 実績報告」において、事業終了後の書面における実績報告を義務づけました。

本規定は、このご報告の後、所定の事務決裁を受けまして適用を開始いたします。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました、報告は後援名義等使用の件について、後援名義等使用承認に関する事務取扱基準の改正についての2点になりますが質問等ございますか。

○菊池教育長職務代理 後援名義等使用承認された中でNo.8の「NOW 三浦スイカ OWS 大会 2016」とNo.15「Miura サイエンスカフェ」についての内容を教えてください。

○天野文化スポーツ課スポーツグループリーダー 1点目のNo.8「NOW 三浦スイカ OWS 大会 2016」については、金田湾で遠泳大会を行います。

2点目のNo.15「Miura サイエンスカフェ」については、うらり2階において白石洞穴に関連した研究成果の発表・展示を行います。

○三壁教育長 他によろしいですか、次に(2)平成28年第2回三浦市議会定例会について、報告をお願いします。

○増井教育総務課長 平成28年第2回三浦市議会定例会の状況についてご報告します。

議案・資料の6ページ資料2をご覧ください。

第2回定例会は、6月10日（金）から22日（水）までの日程で開会されました。

市からの提出議案は7件、報告は5件で、そのうち教育委員会関連の案件は、議案1件、報告1件でした。

関連議案につきましては、議案第38号 平成28年度三浦市一般会計補正予算（第1号）についてです。こちらは、5月の定例会でご審議いただいたものです。

内容は、教育研究所事業費を増額し人権教育研究推進事業を行うもの、教育指導事業費を増額して、学力向上の研究を行うもの、学校給食事業費を増額して、自家用電気工作物の修繕を行うものでございました。

本案件につきましては、22日の本会議で可決いただいております。

関連報告は、報告第6号 一般社団法人みうら学・海洋教育研究所に係る事業計画についてでございました。

また、今議会の中で、一般質問は6月14日（火）、15日（水）の2日間で行われ、11名の議員から質問がありました。

そのうち教育委員会が答弁いたしました案件4件の内容について、ご報告いたします。

1件目は、日本共産党の石橋むつみ議員からの質問です。

内容は2点ございまして、1点目は、本市がゴミの減量化への取り組みとして進めている「キエーロ」と申します太陽光と風を利用した生ゴミ処理法については、普及を図ると同時に環境を考えることにもつながるため、学校の授業や活動のなかに取り入れることが必要ではないのかというものでした。

2点目は、図書館本館が移転して4ヶ月経過した現在の状況を問うものと、ゴミ減量化についての市民への啓発を図書館で行うことについてでありました。

以上2点に対する答弁でございます。

1点目のキエーロについては、市民の皆様の様々な取り組みは児童・生徒にとって有効な教材であると考えていること、その取り組みを授業の中で有効活用できるよう情報発信していきたいと考えている旨お答えいたしました。

2点目の図書館については、移転後に図書館利用者からは、図書の閲覧や学習環境等の改善が見られると大変高評価をいただいていること、これからもよりよい環境作りに配慮することをお答えし、ゴミ減量化等の市民課題については、図書館での広報の具体的手法を検討したいとするとともに教育部として市民へ正確な情報をお伝えし、市民理解を深めるといった側面で協力をしていきたい旨お答えいたしました。

なお、石橋むつみ議員からは、市長室に対しまして事業化可能性調査についての質問もあり、その中で、教育委員会が所管する南下浦市民センター用地の子育て賃貸住宅としての活用調査の内容に関しまして、現在の南下浦市民センター機能の維持と保護樹木の保全等を前提とした事業実施の可能性について調査を実施している旨の答弁がなされております。

2件目は、自由民主党の出口正雄議員からの質問です。

先頃、青少年指導員宛てに送付された文書について、青少年指導員の個人情報を利用したと思われるが、名簿の管理状況や外部への提供がなかったのかどうか、青少年指導員連絡協議会では、この事実についてどのような議論がなされたのかというものでした。

名簿の開示や提供といった事実はないこと、公務で使用している名簿の漏洩はないこと、青少年指導員から、「困惑している。」「なぜ個人宛に文書が届くのか。」といった意見があり、教育委員会としても大変遺憾である旨お答えいたしました。

議員からは、きわめて不愉快な一件であり、引き続き的確な対応をするよう要望がございました。

3件目は、みうら市政会の長島満里子議員からの質問です。

職業体験の実施内容と子どもたちが高齢者と直接ふれあう機会を作ることの意義について質問をいただきました。

現在の職業体験の実施状況と生徒並びに受け入れ事業所にとって有意義な体験となっていること、総合的な学習の中で福祉について学習する機会を設けており、高齢者施設への訪問などを行っていることをご説明しました。

議員からは、三浦らしい教育のひとつとしてこのような活動を大切にしようという要望がございました。

4件目は、みうら市政会の出口眞琴議員からの質問です。

海洋教育について、これまでの内容とこれからの取り組みについてご質問いただきました。

これまでに開発した教材、東京大学三崎臨海実験所との連携内容等について、みうら学・海洋教育研究所の設立までの経緯や今後の取り組みへの考えについてご答弁いたしました。

平成28年度第2回定例会に関する報告は、以上です。

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

○菊池教育長職務代理 個人情報に関する件ですが市の対応はどのようになっていますか。

○安藤青少年教育課長 青少年指導員の名簿の管理状況等についてご説明します。

青少年指導員の会議の際に資料がありますが、指導員個人の住所等が記載されたものはお渡ししておりません。

○大西教育部長 このことにつきましては、市長を中傷する怪文書でございまして、5月24日頃に市長をはじめ、教育長、区長、民生委員児童委員、青少年指導委員さん宛て市内200通を超える怪文書が届いたと伺っています。

内容につきましては誹謗中傷でありますので市の対応としましては、弁護士と相談をしている最中でございます。

青少年指導員さんにつきましては、会長と何度かお話をさせていただいております、現在の指導員さんからは個人情報が漏れていないと伺っております。

今後教育委員会で事務局をしておる関係もありますのでそのようなことがなかったか、厳正にチェックをしていきたいと思っております。

○下里委員 つい先日ですが、大分県教育委員会で情報漏れがありました。コンピュータが発達してきて大量の情報を活用できるようになりましたがセキュリティ面で甘い部分があります。今回のことを受けてより一層気をつけて事務にあたっていただければと思います。

○三壁教育長 ただいまの下里委員の発言については注意喚起ということで受け止めなければなりません、今回の件については、それぞれの事務局において調査をした結果、事務局から情報が漏れていることはなかったということです。

しかしながら、その他の部分も含めて情報の管理については十分気をつけることが必要になります。

○曾根委員 今回のお話ではデータベースからのデータ流失ではなくその他の理由によるものと感じています。

青少年指導員さんということで教育委員会の関連についてもありますので、一般的には教育委員会というと学校がイメージされ、保護者の立場を考えると子どもの情報が大丈夫なのか不安を持たれる場合もありますので、学校関連の個人情報についてのセキュリティは万全です。ということも明確にされれば安心されると思います。

○三壁教育長 次に、次第6「その他の事業について」に入りたいと思います。

(1)夏のスポーツ行事について、説明をお願いします。

○天野文化スポーツ課スポーツグループリーダー それでは文化スポーツ課より、夏のスポーツ行事につきまして、議案資料の14ページ、資料No.3に基づきましてご報告させていただきます。

教育委員会が各団体と共に主催して行う各種スポーツ事業につきまして、順に報告をさせて

いただきます。

まず、バドミントン教室ですが、主催は三浦市バドミントン協会です。

開催期間は、7月16日（土）から24日（日）の間で全5回の開催予定となっています。

会場は潮風アリーナです。

対象者は小学生から一般の男女で、初めてラケットを握る方からゲームを楽しめる方まで、原則、毎回参加できる方とし、定員は50人です。

申込期間は既に6月1日から始まっており、6月30日（木）までです。

現在の申込状況は、昨日現在で48人です。

次に、第3回三浦市少女ミニバレーボール大会です。

平成25年度までは教育委員会が主催で実施してきましたが、参加者数の減少により、教育委員会主催事業としては、平成25年度をもって終了した事業です。

平成26年度から、主催が三浦市ミニバレーボール連合会となり、今年が第3回目の大会となります。

教育委員会主催時と大きく変わった点としては、チーム編成が区単位ではなくなったことと、参加料の負担があることです。

開催日時は、8月7日（日）、場所は潮風アリーナです。

最後に、学校プール開放事業でございますが、中学校3校のうち、三崎中学校につきましては、7月21日（木）から8月21日（日）までの開放で、そのうち8月1日から8月21日までの間は一般開放とし、時間は10時から12時、13時から16時まで開放いたします。

南下浦中学校、初声中学校につきましては、7月21日（木）から8月15日（月）までの期間において、団体開放いたします。

以上で夏のスポーツ行事につきまして報告を終了いたします。

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

○曾根委員 バドミントン教室についてお聞きします。

現在、48名申込があるということですが、小学生と中学生の割合はどのくらいでしょうか。

○天野文化スポーツ課スポーツグループリーダー 小学生が30名、中学生が18名でございます。

○下里委員 プールの団体開放についてですが、小中学生の水泳教室みたいなものが行われているのでしょうか。

○天野文化スポーツ課スポーツグループリーダー 水泳教室とまではいきませんが、各子ども会、スポーツ団体等で人数が集まった段階で学校に申請していただき許可が下りてご利用いただくようになっております。

○三壁教育長 怪我等あった時には、教育委員会主催である場合に責任の所在はどうなっていますか。

○天野文化スポーツ課スポーツグループリーダー　バドミントン教室、ミニバレーボール大会については、バドミントン協会、ミニバレーボール連合会それぞれで保険に加入しておりますので、加入している保険での対応となります。

○三壁教育長　学校プール開放で三崎中学校だけが団体開放と個人開放がある大きな理由はなんでしょうか。

○天野文化スポーツ課スポーツグループリーダー　三崎中学校のみ個人開放を実施している理由は、三浦水泳プールが現在休業しており、その代替として三崎中学校のプールを個人開放し、資格を持った監視員を配置しております。

団体開放においては、各団体で責任を持って監視等していただくために安全面に注意して利用していただくようにご案内しています。

○菊池教育長職務代理　学校プール開放ですが、年齢制限はありますか。

○天野文化スポーツ課スポーツグループリーダー　明確なものはありませんが、学校のプールですので水深が浅くはありませんので、小さなお子様が利用される場合は保護者等一緒に来ていただくようお願いしております。

○下里委員　一つ疑問がありまして、三浦市バドミントン協会と三浦市教育委員会が主催となっているのですが、もし何かあった場合にはどちらに目が行くかという点やはり教育委員会になると思います。表記の仕方に工夫ができないのかと感じましたので。

○三壁教育長　今までは主催、共催と表記がされていたと思いますが、今回の表記の仕方について経緯は説明できますか。

○増井教育総務課長　以前は主催、共催と表記しておりました。言葉の意味としましては共催といえますと同等の立場で事業を行うということでございます。今回のバドミントン教室、ミニバレーボール大会については主に事業を行っているのはバドミントン協会やミニバレーボール連合会であり、教育委員会は言葉が適切か分かりませんが協力をしているということです。

従来の主催、共催という表記では日本語的に適切ではありませんのでこのような記載をいたしました。

教育委員会としてのバックアップの仕方、どう表記したほうが適当なのか研究の余地があり、そのためには現在、共催についての規程がありませんので規程の作成も必要となってくるかもしれません。

○三壁教育長　先ほどからの主催、共催については教育委員会として検討しなければいけないと思います。

○大西教育部長 この件につきましては、市の法制担当とも相談しながら対応していきます。

○天野文化スポーツ課スポーツグループリーダー 先ほど後援名義使用等の菊池教育長職務代理への説明で「Miura サイエンスカフェ」については発表・展示とご説明しましたが、正しくは発表会でございます。2名の研究者が研究成果の発表をし、来訪者と語り合うということで、すので訂正させていただきます。

○三壁教育長 続いて、(2)三浦市社会教育講座「したうら塾」、(3)「親子で遊ぼう3B体操講座」及び(4)サタデーボックス「子ども絵画教室」の開催については、南下浦市民センターの事業ですので一括で説明をお願いします。

○見上初声市民センター館長 南下浦市民センターから、3つの社会教育講座について説明いたします。

始めに15頁、資料No.4です。

夏休み期間中に「作ってみよう、見てみよう」をテーマに「したうら塾」を開催します。

日付順で説明していきます。8月3日(水)、南下浦小学校 辻功教諭を講師に、浜諸磯海岸まで市のマイクロバスで移動し、「海辺の生き物を学ぶ～三浦半島の磯を観察～」を行います。

8月17日(水)は三崎中学校非常勤講師の永田小夜子氏を講師に迎え「子ども料理教室」でピザを焼きます。続いて、8月19日(金)、葉山町一色小学校校長益田孝彦氏を講師に迎え「夏休み理科実験教室～サイエンスショー～」を開催します。最後に8月23日(火)、神奈川県教育局文化遺産課職員を講師に「縄文の首飾り」のまが玉を作ります。

対象は全て小学校4年生～6年生で、7月12日(火)から参加申し込みを受け付けます。

次に16頁、資料No.5をお開きください。

親子で一緒に身体を動かすことで、保護者同士、子ども同士の仲間作りすることを目的に「親子で遊ぼう3B体操講座」を開催します。

開催日時は、7月14日(木)10時から11時まで、南下浦市民センターの講義室です。

公益社団法人日本3B体操協会 公認指導者の遠渡常美氏、小西貴美子氏2名を講師として招き、3種類の用具「Ball(ボール)、Bell(ベル)、Belter(ベルター)」を使う体操を未就園児とその保護者を対象に行います。

定員は親子15組で、受講料は無料です。

次に17頁、資料No.6をご覧ください。

サタデーボックスの一つであります、子ども絵画教室です。絵画で感性を磨くことを目的に、7月から来年の2月まで、毎月第3土曜日、計6日間、田村まゆみ氏を講師に迎え「子ども絵画教室」を開催します。

対象は小学校4年生～6年生です。

6日間で水彩画を完成させ、教室が終了する来年2月以降、作品を南下浦市民センターロビーで2週間ほど展示します。

以上で説明を終わります

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

- 松尾委員 資料5「親子で遊ぼう3B体操講座」について、対象者の表現方法を注意していただきたいのですが。
- 三壁教育長 開催についての配布はいつ頃しましたか。
- 見上初声市民センター館長 申込方法に7月4日から申込となっておりますので窓口に配架しているかと思えます。
- 菊池教育長職務代理 私の手元にある三浦市民6月号には掲載はありませんが、7月号には掲載をするのでしょうか。
- 見上初声市民センター館長 7月号にはご指摘いただいている部分は掲載されないと思います。
- 松尾委員 今回のことに限らず人権に関わることについては、文章を考える際によく検討をしていただければと思います。
- 下里委員 表記のことですが、主催が三浦市社会教育講座実行委員会と三浦市教育委員会、主管が南下浦市民センターとなっているのですが、個人的な感覚かもしれませんが違和感を感じまして、こここのところは是非、研究していただければと思います。
- 大西教育部長 実行委員会やバドミントン協会については市民の団体であり、市民が活躍する場でもありますので市民優先ということで先に表記をし、教育委員会は裏方という部分もあり、後に表記をすることとしました。
下里委員のご指摘については先ほども申し上げましたが、法制担当と協議をさせていただければと思います。
- 三壁教育長 続いて、(5)三浦市児童期家庭教育学級「みちしお学級」及び(6)三浦市社会教育講座「親子やきもの教室」の開催については、初声市民センターの事業ですので一括で説明をお願いします。
- 見上初声市民センター館長 18ページ、資料7の三浦市児童期家庭教育学級「みちしお学級」について説明いたします。
親子で学習しながら家庭教育を考えることを目的に5つの講座を開催します。
参加対象者は、市内在住の小学生とその保護者です。
1つ目の「食育を学ぶ」は、親子で料理、予定では餃子を作るとともに、夏バテ予防の料理と話を聞きます。昨年に引き続き今年で2回目の講座です。
2つ目の「こけ玉作り」は、土を小さく丸めその周りにコケを貼付け、人工の麻みたいなジュートファイバーで包みコケを固定します。できあがったコケ玉に小さな観葉植物を差したり、

プラスチックの目玉を付けて、カエルやひよこを作ります。今回が初めての講座です。

3つ目の「つるしびな作り」では、小学生は「金魚」を大人は「つかまり赤ちゃん」を1つずつ作ります。これも今回が初めての講座です。

4つ目の「藍染に挑戦」は、縦横約40cmのハンカチを染めます。昨年度に引続きの講座です。

5つ目の「ポーセラーツ」では、マグカップに絵が描いてある特殊なシールを貼り付け、そのあとに焼きを入れて、オリジナルのマグカップを作ります。カップの引き渡しは後日になります。今回が初めての講座です。

参加を希望する講座ごとに、申し込んでいただきます。

続きまして20ページ、資料8の「親子やきもの教室」について説明いたします。

夏休みのこの時期に、親子で動物の焼き物を作り、創造の喜びを体験するとともに焼き物の製造過程を学ぶことを目的にしています。

7月24日に粘土で動物を作り、8月7日に色付けをします。

素焼きと本焼きは講師が行いますので、親子での参加はこの2日間になります。完成した作品は8月12日以降に引き渡しをします。

講師は、中学校の美術の先生を務め、南下浦中学校の校長で退職されました、陶芸家の角野竹博先生です。

昨年までは小学生とその親を対象としておりましたが、今回は中学生まで枠を拡大いたしました。

「みちしお学級」「親子やきもの教室」とも7月8日から受付を開始し、定員になりしだい締め切ります。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

○三壁教育長 他になければ、次第7「その他」に入りたいと思います。

委員の皆様から何かありますか。

○松尾委員 夏休みも近づいてきまして、学校では成績処理期間に入るとは思いますが、パソコンで処理される際に誤って成績表に表記してしまう事例をニュースで聞きます。三浦市ではそのような事がないようにご指導をお願いいたします。

もう1点は、4月に報告を受けました三崎中学校での件について、その後どのようなになっているか教えてください。

○五十嵐学校教育課長 三崎中学校の件についてですが、当該生徒につきまして保護者、関係機関との連携の中で今回の件について検証を行い、本人の心の状態、今後の生活について相談を進めているところです。

現在、本人は家庭学習ということで三崎中学校の教員が家庭訪問をしながら関係を作り学校生活に戻す準備をしています。あわせて学校内でも生徒に対して本人が戻ってくるに際して受入の指導をしています。

当初、教室に入れなくなった生徒も何名かおりましたが、現在は全ての生徒が通常の授業を受けている状況になっております。

学校は今後、当該生徒がどのように戻ってくる状況にするのかを教育委員会と連絡を密にして受入体制を考えていくことになります。

○三壁教育長 他にございますか。

(発言等なし)

○三壁教育長 その他にないようでしたら、これもちまして、平成28年第6回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

◇ 午後4時25分 閉会 ◇
